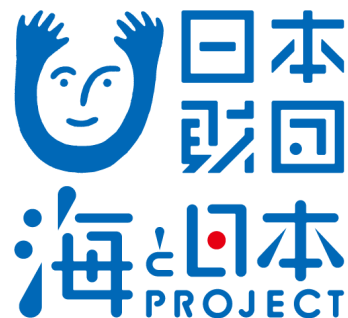


「海と食」に関する意識調査結果



一般社団法人 海と食文化フォーラム

2021年9月

調査概要

一般社団法人 海と食文化フォーラムは、2021年7月、日本財団“海と日本プロジェクト”の一環として「海と食に関する意識調査」を実施。この調査は、四方を海に囲まれ、海の恩恵を受けて生活する日本人が「食を入り口とした海」に対して、どのような意識や行動をしているか、実態を明らかにすることを目的にしたものです。

- ・有効回答数：1153
- ・対象：15～69歳の男女（男性586, 女性567）
- ・居住エリア：一都三県（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）

東京都 446【38.8%】、千葉県 188【16.3%】、埼玉県 193【16.8%】、神奈川県 311【27.0%】

- ・期間 2021年7月19日～7月20日
- ・方法 インターネット調査

- ・「90.3%」が「海は日本人の食にとって、大切な存在だ」と返答。その一方で「海が好き」という質問には「68.5%」が好きだと返答。
- ・「食」ということを入口にすると、関心を持つ一般生活者が増加することが分かった。
- ・海に関係する食文化の中で興味のあることは、「魚の選び方」や「調理方法」といった「おいしく食べること」に直接関係することに関心が高い。
- ・「漁師」や「市場」、「道具」といった海の背景や関連情報への関心は、低い傾向にある。
- ・海洋国家である日本に生きる私たちは、「おいしく食べること」だけにとどまらず、そこを起点に海への興味関心を高め、海のことをもっと知り、高いリテラシーを有する必要がある。
- ・「おいしい、以上に知ってほしい海がある。」というメッセージを設定し、「食」をきっかけに「海」への興味関心を高め、海を守る行動を促していくことが、次世代に海の恵みを継承することにつながると思う。

海と食に関する意識と行動

海と食に関する意識と行動

9割（90.3%）の人が「海は日本人の食にとって、大切な存在だ」と思っている。

Q.海は日本人の食にとって、大切な存在だと思いますか？

0 100 200 300 400 500 600 700 800

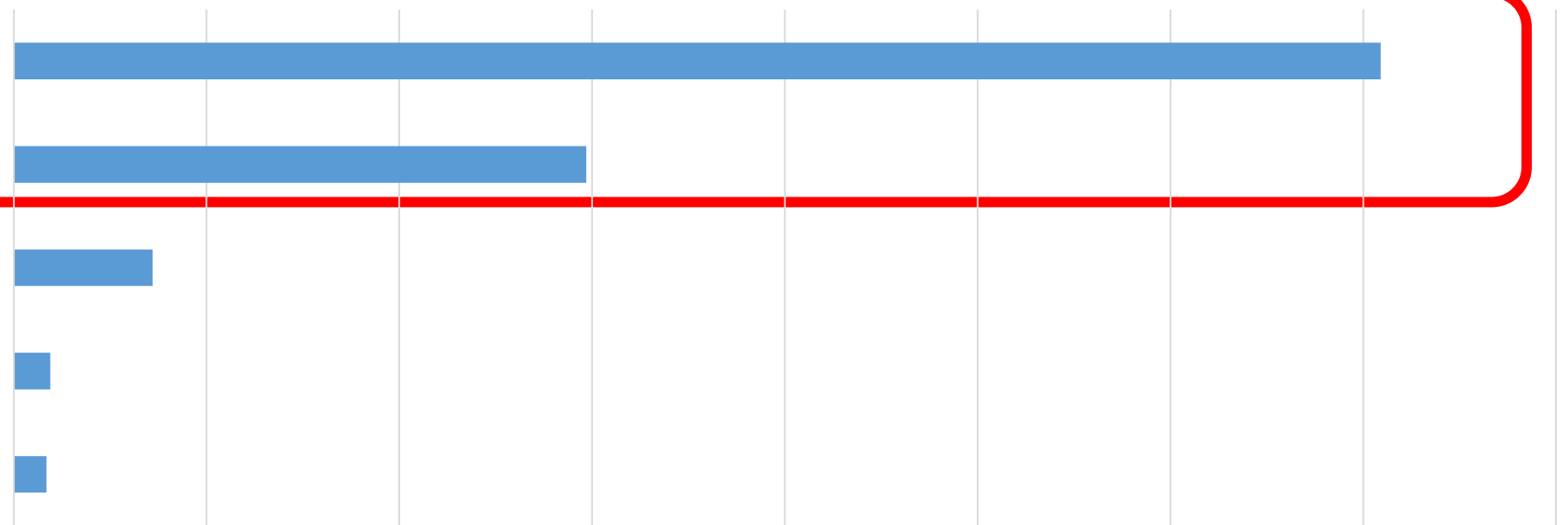
非常によくあてはまる

少しあてはまる

どちらともいえない

あまりあてはまらない

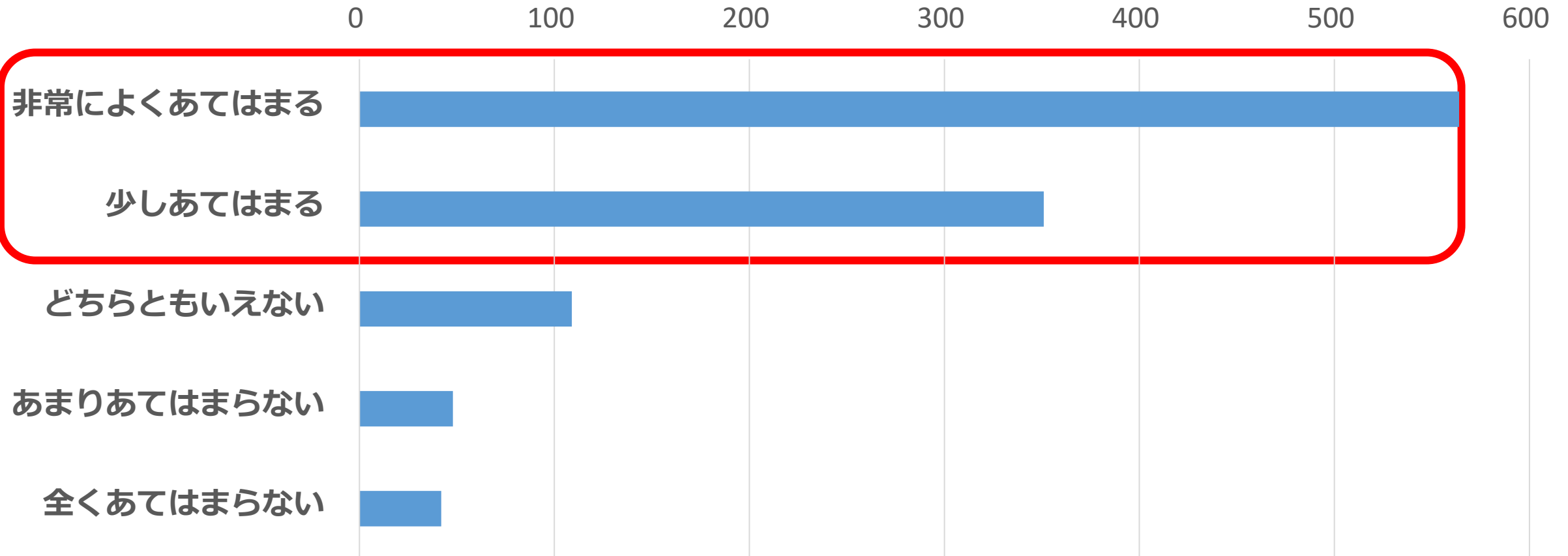
全くあてはまらない



海と食に関する意識と行動

8割強（82.1%）が「海の幸魚、貝、海藻類、だし）を食べることが好きである」と返答

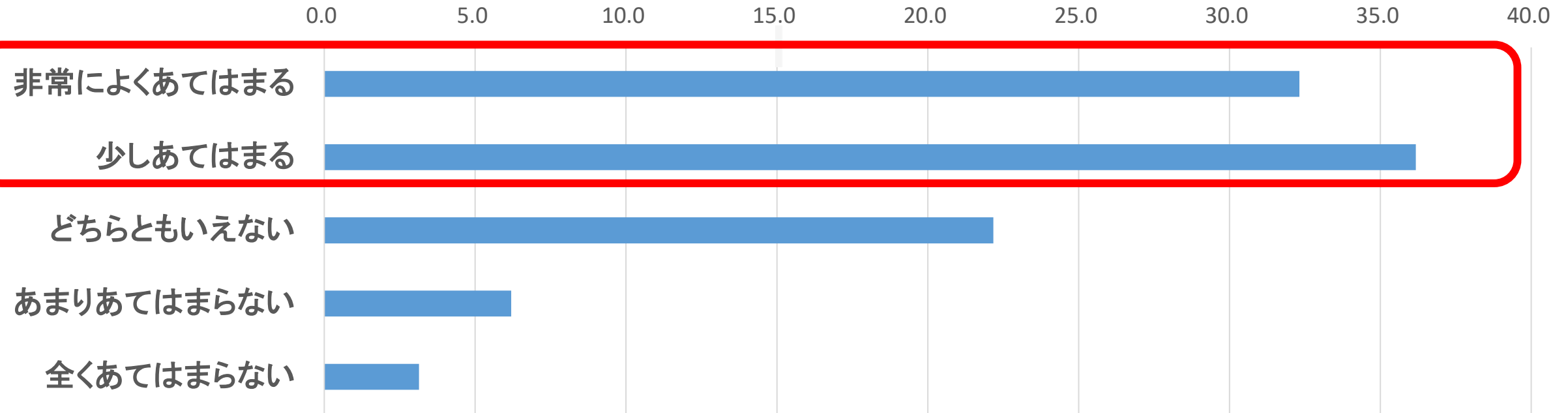
Q.海の幸を食べることが好きですか。（魚、貝、海藻類、だし）



海への意識と行動

約7割（68.5%）が「海が好きだ」と感じている。

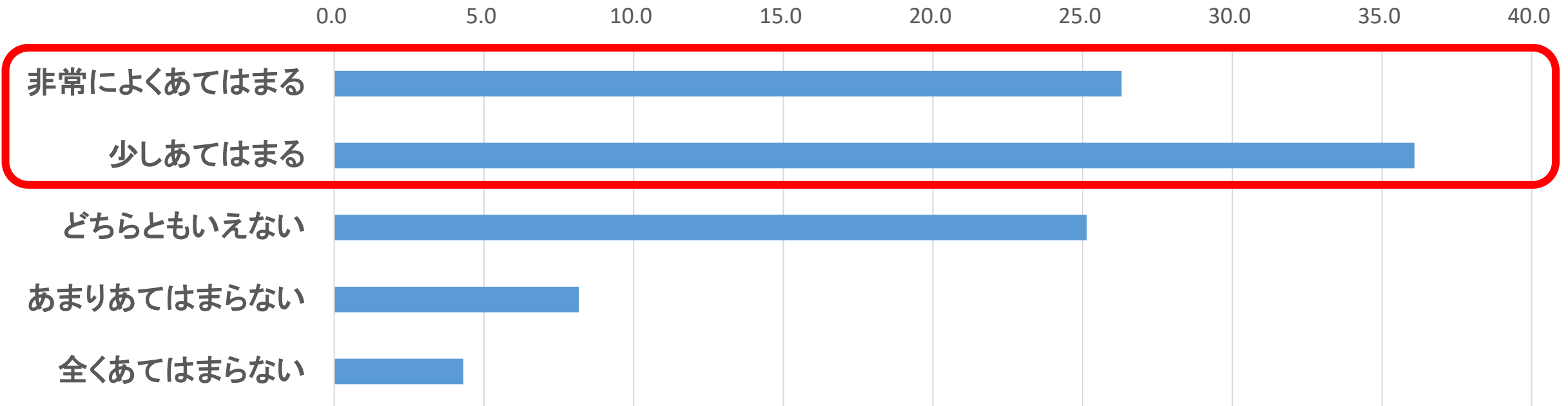
Q.海が好きだと思いますか？



海への意識と行動

6割強（62.4%）が「海への親しみ」を感じている。

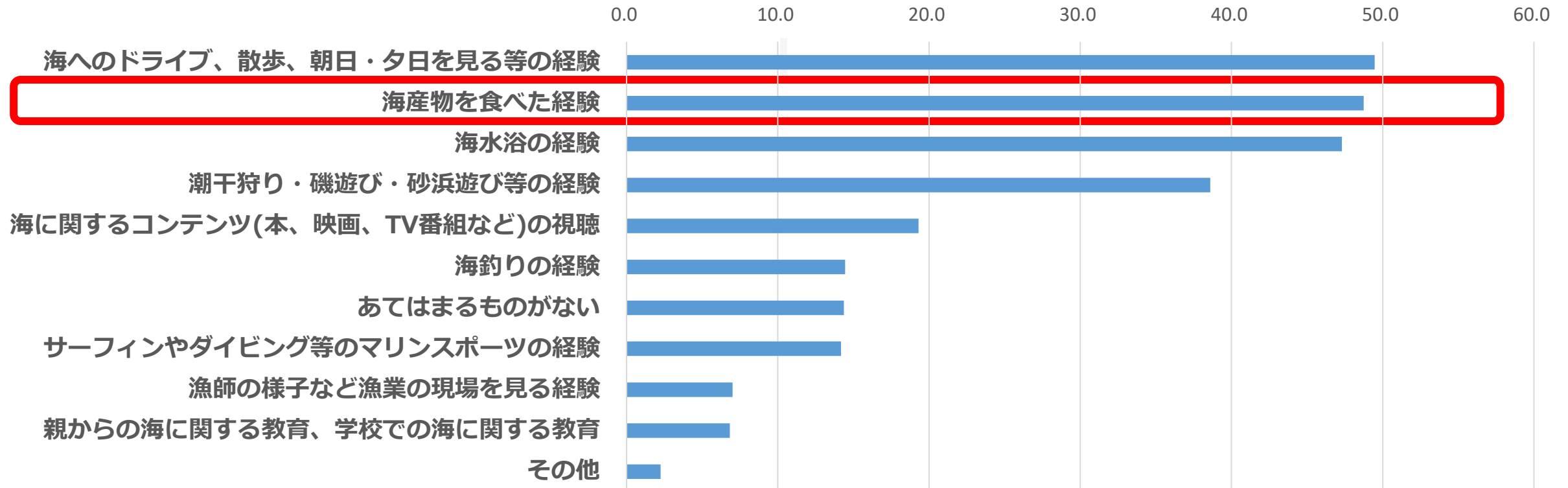
Q.海にとっても親しみを感じていますか？



海への意識と行動

海を好きになったり、親しみを持つきっかけとして、「海辺の散歩や夕日を見るなどの経験」（視覚体験）に次いで、海産物を食べた味覚経験が高い。（複数回答可）

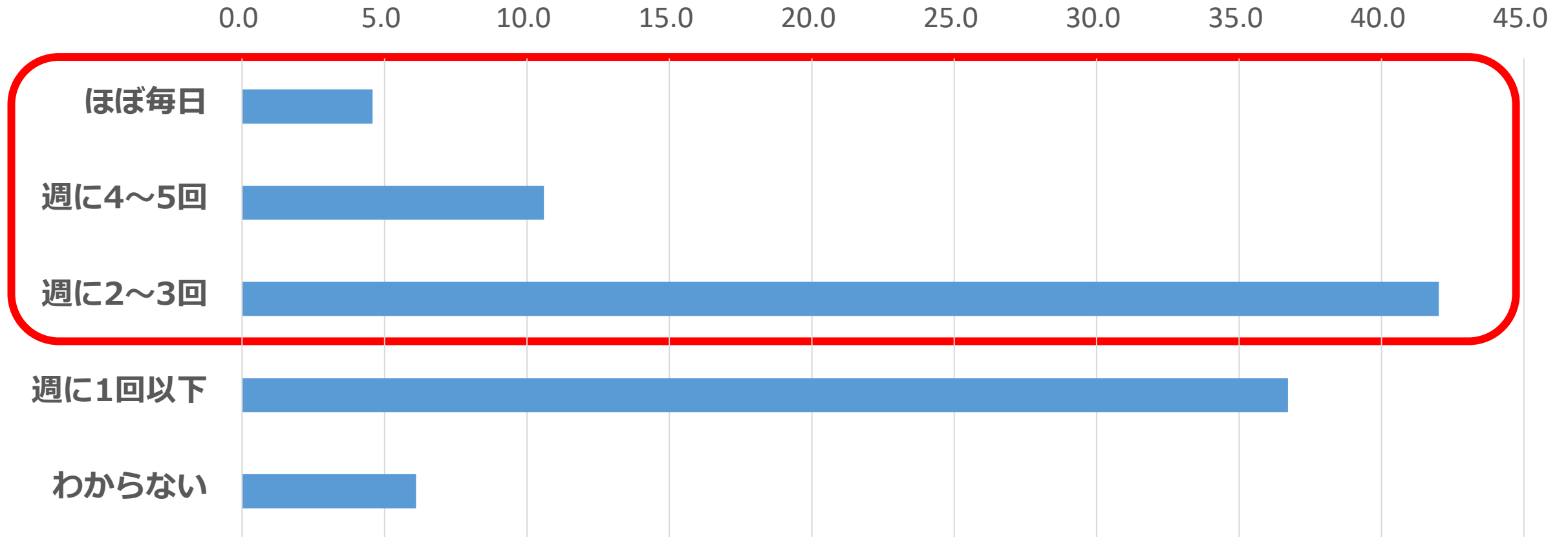
Q.どのような経験から海を好きになったり、親しみを持ったりしますか？あてはまるものを選んでください。



海と食に関する意識と行動

約6割（57.2%）が週2以上、海の幸を使った料理を食べる。

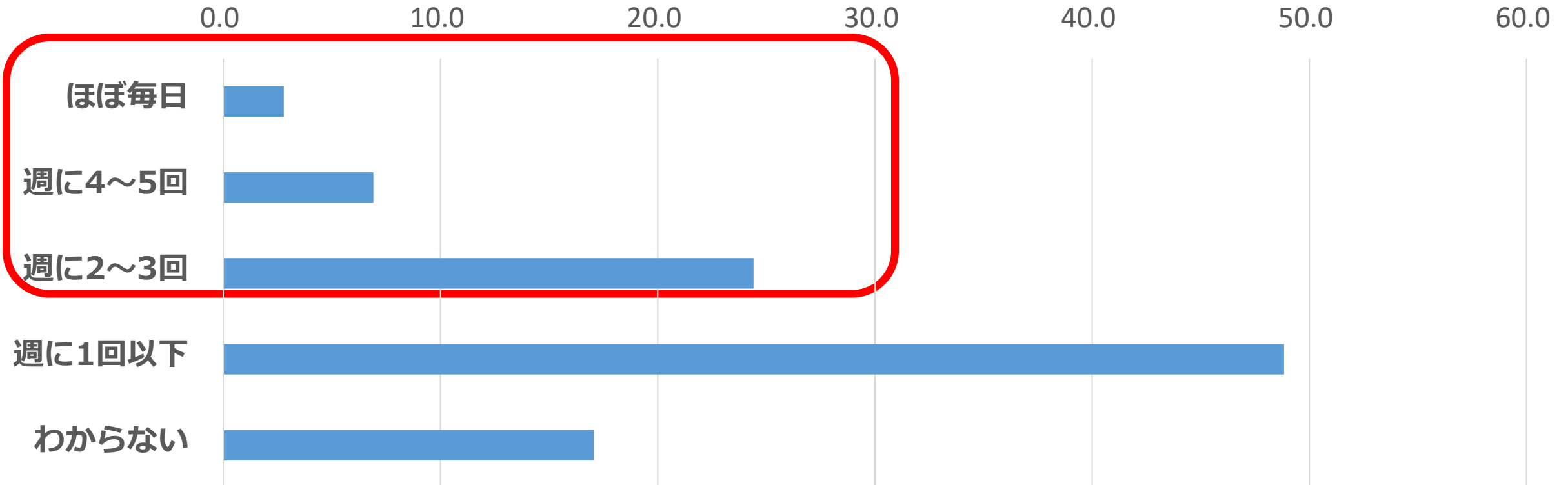
Q.海の幸を使った料理を食べる頻度はどれくらいですか？



海と食に関する意識と行動

海の幸を使った料理をする頻度は、週2回以上と答えた人の割合が34.1%

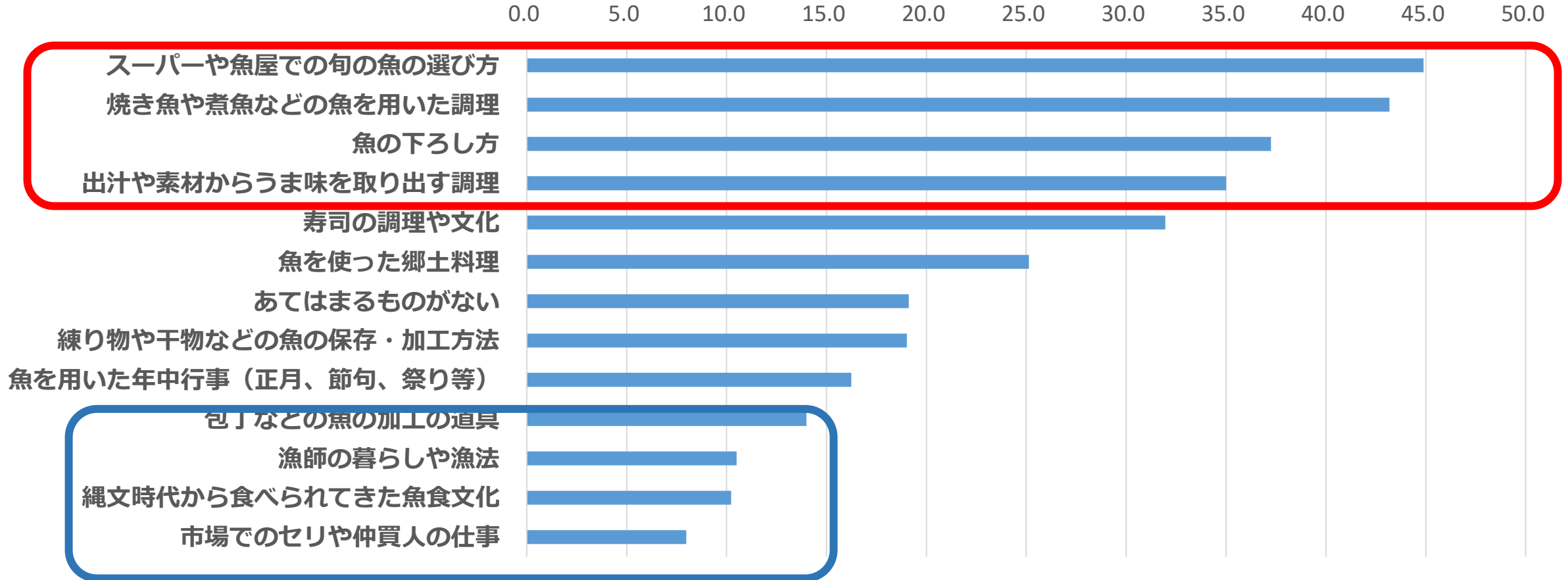
Q.海の幸を使った料理を作る頻度はどれくらいですか？



海と食に関する意識と行動

海に関係する食文化の中で興味のあることは、「魚の選び方」や「調理方法」といった料理に直接関係することに関心が高い。漁師や市場、道具といった関連情報への関心は低い。
(複数回答可)

Q.海に関係する食文化の中で、どういったものに興味がありますか？



参考：海と食に関する意識と行動

Web検索の結果を見ても、海に係る食文化の中で興味のあることは、**料理やおいしさに関するキーワードへの関心が高い**。漁師や市場、海の地形といった関連情報への関心は低い。(2021年9月時点)

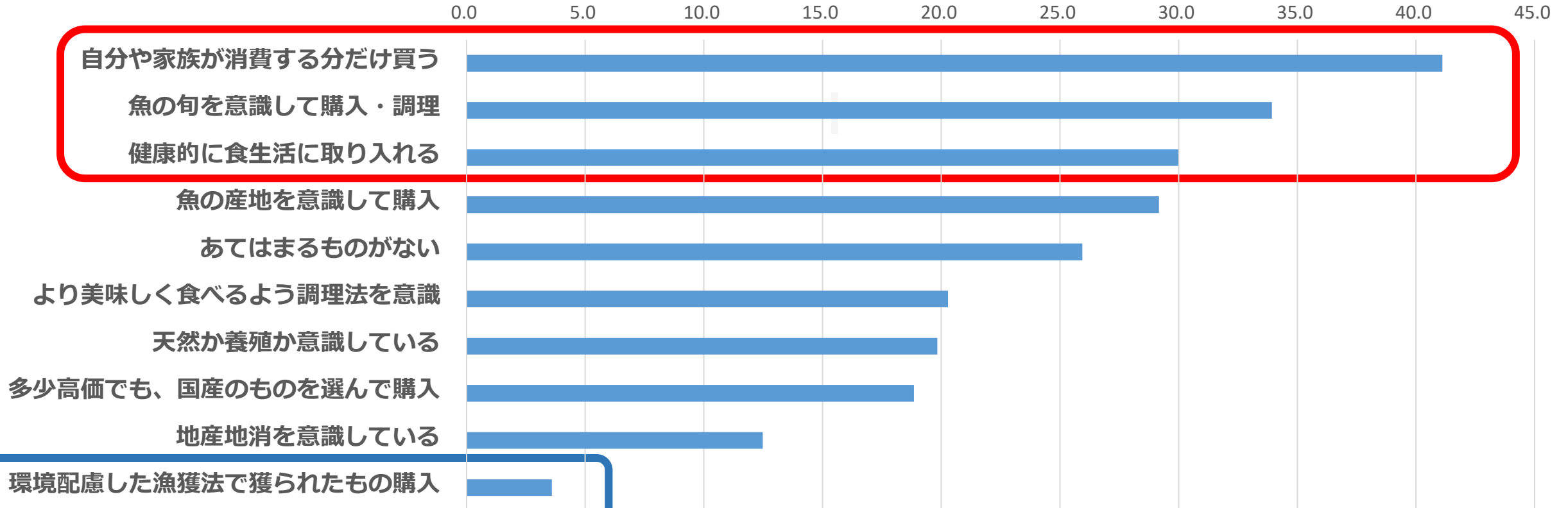
検索ワード	google	yahoo
海の料理	約 337,000,000 件	約305,000,000件
おいしい魚	約 129,000,000 件	約122,000,000件
魚の調理	約 34,900,000 件	約 37,900,000件
漁師の暮らし	約 17,700,000 件	約 14,300,000件
海の地形	約 17,500,000 件	約 19,800,000件
市場のセリ	約 3,920,000 件	約 3,920,000件

「おいしい、以上に知って欲しい海」に関連する項目に対して、**現状は「関心が低い」状態である。**

海と食に関する意識と行動

海の幸を選んで買う時に意識することとして、消費する分だけ買う（1位：41.1%）、旬を意識する（2位：33.9%）、健康志向（3位：30.0%）などが上位。環境に配慮された商品の購買については、低い状態にとどまっている。
（複数回答可）

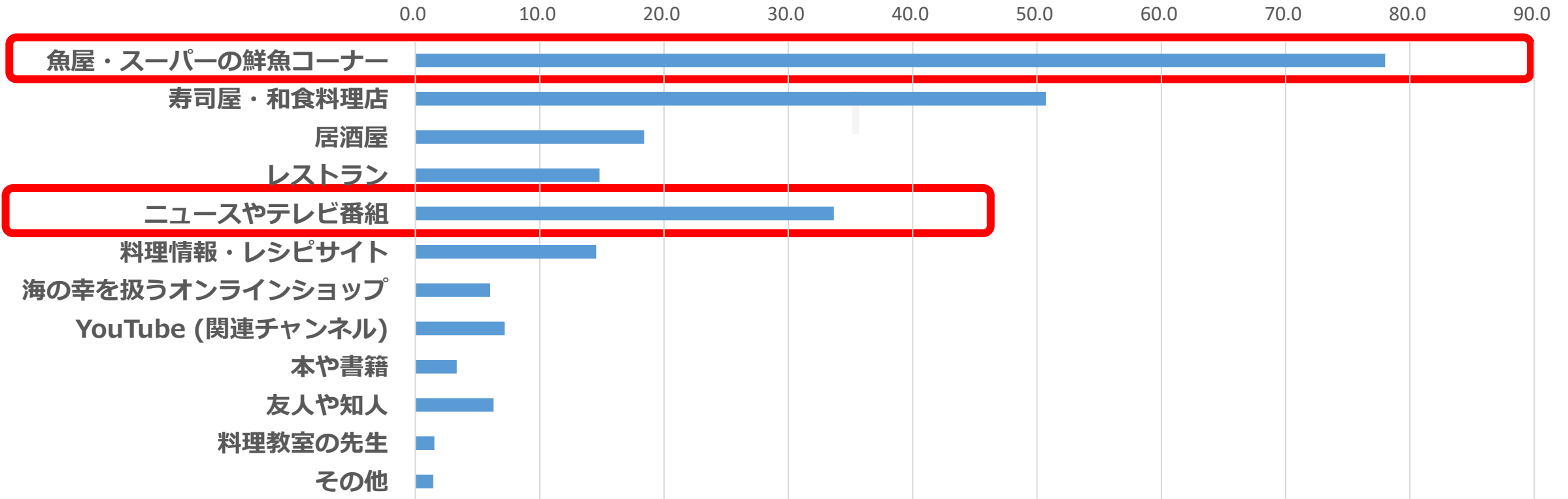
Q.海の幸を選んで買う時に、下記のことを意識することはありますか？あてはまるものを選んでください



海と食に関する意識と行動

海の幸の旬を感じる場面としてあてはまるのは、「魚屋・スーパー」が高く、「ニュースやテレビ番組」からも情報を得ていることが分かる。
(複数回答可)

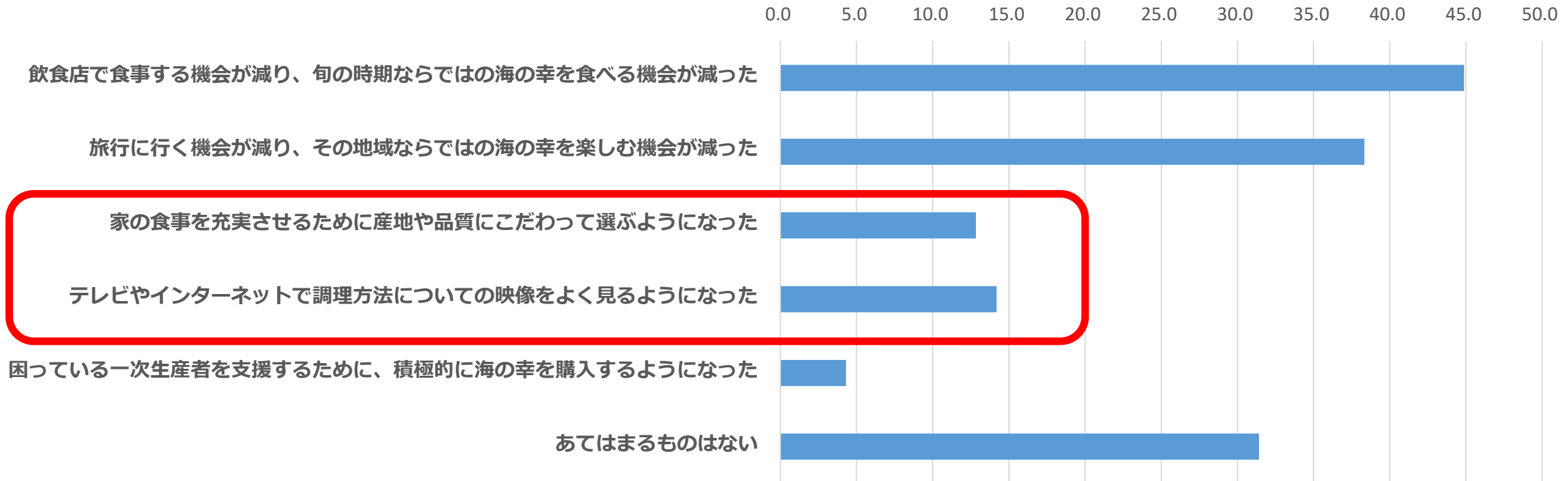
Q.海の幸の旬を感じる場面としてあてはまるものを選んでください。



海と食に関する意識と行動

コロナ禍での海の幸を味わう機会：外食（44.9%）や旅行（38.3%）の機会は減ったが、テレビやネットなどの情報源をもとに、内食を充実させる能動的な行動をとっている。（複数回答可）

Q.コロナ禍により自粛生活が続く中で、海の幸を味わう機会について、あてはまるものを選んでください。



海の課題に対する認知

海で起こっている下記の問題について、聞いたことがあるものとして「地球温暖化による問題」の認知度が高い（73%）

（複数回答可）

1位：地球温暖化により海氷や氷河・氷床が融解。海面水位は過去110年にわたって上昇し続け、
海拔の低い地域に高潮などの被害を与えている **73.0%**

2位：最近の夏場の猛暑や台風の大型化などの気候変動の原因にも海の変化が大きくかかわっている **51.5%**

3位：生態系の変化や乱獲などによって、今食べている魚が食べられなくなる **53.9%**

4位：海ごみの約8割は陸から流れ出ており、生活のゴミを減らすことや普段からマイバックを持つことが、海ごみの削減につながっている **50.5%**

海の課題に対する認知

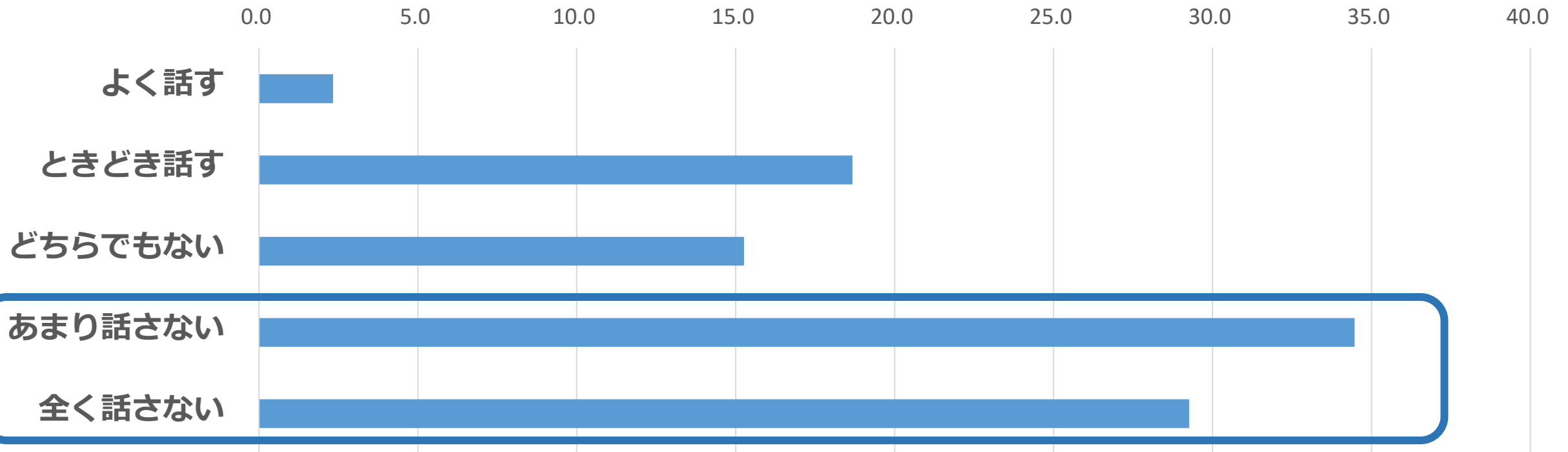
「海で起こっている下記の問題について、聞いたことがあるものは？」という問いに「魚の資源量の枯渇」「海洋酸性化」「磯焼け」等について認知が低い。(複数回答可)

- ・世界の約9割以上の魚が、限界のぎりぎりか限界を超えて捕られている、利用されている。
14.9%
- ・二酸化炭素が海水に溶けることによりpHが少しずつ酸性化することを「海洋酸性化」という。海洋酸性化が進むと、海に棲む生物や、その生物たちが作る豊かな生態系に大きな悪影響を及ぼす恐れが指摘されている。
16.0%
- ・海藻が繁茂し藻場を形成している沿岸海域で、海藻が繁茂しなくなる現象を「磯焼け」という。磯焼けが起こると、生態系のバランスがくずれてしまい、貝類や魚も住めなくなってしまう。
22.2%
- ・日本のプラスチック生産量は世界で有数であるにも関わらず、国内でプラスチックがリサイクルされ利用されている率はわずか数%に過ぎない
34.3%

海の課題に対する認知

**海の問題について認知度は高いものの、周りの人と話す機会は少ない傾向にある。
(63.8%)**

Q.前問の「海で起きている問題」について周りの人と話題にすることはありますか？

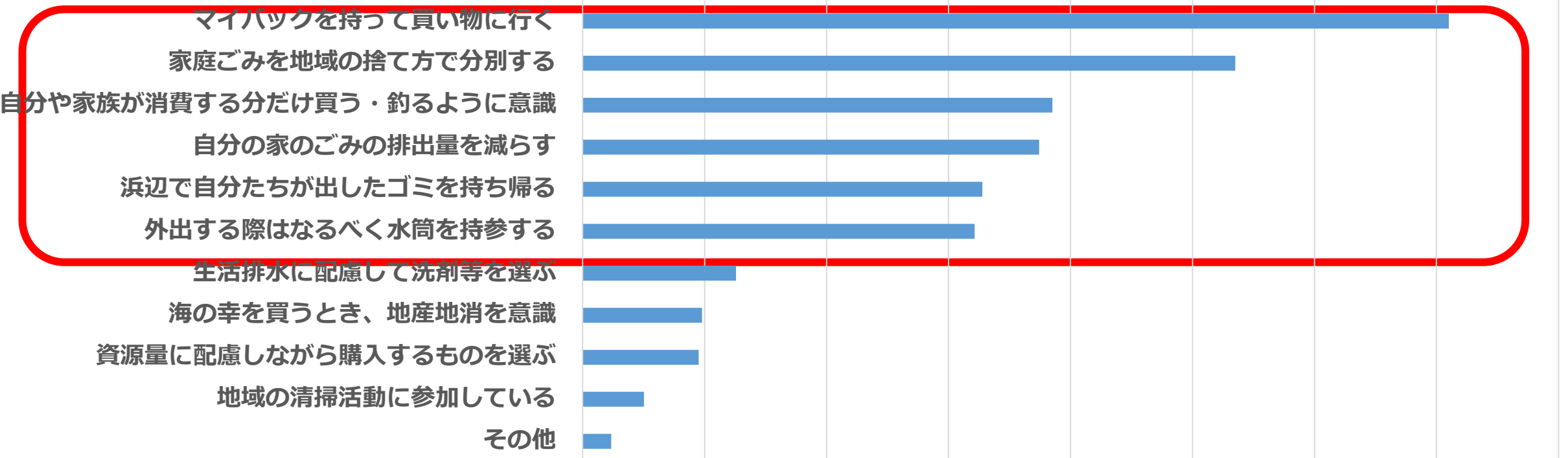


海の課題に対する認知

海を守るために意識している行動として、ゴミを削減する行動を行っている人が多い。
 一方、資源量に配慮して購入する（9.5%）、地産地消を意識する（9.8%）については、
 低い状態に留まっている。
 （複数回答可）

Q.豊かな海を守ることに繋がると、意識して行っていることを下記項目から選んでください。

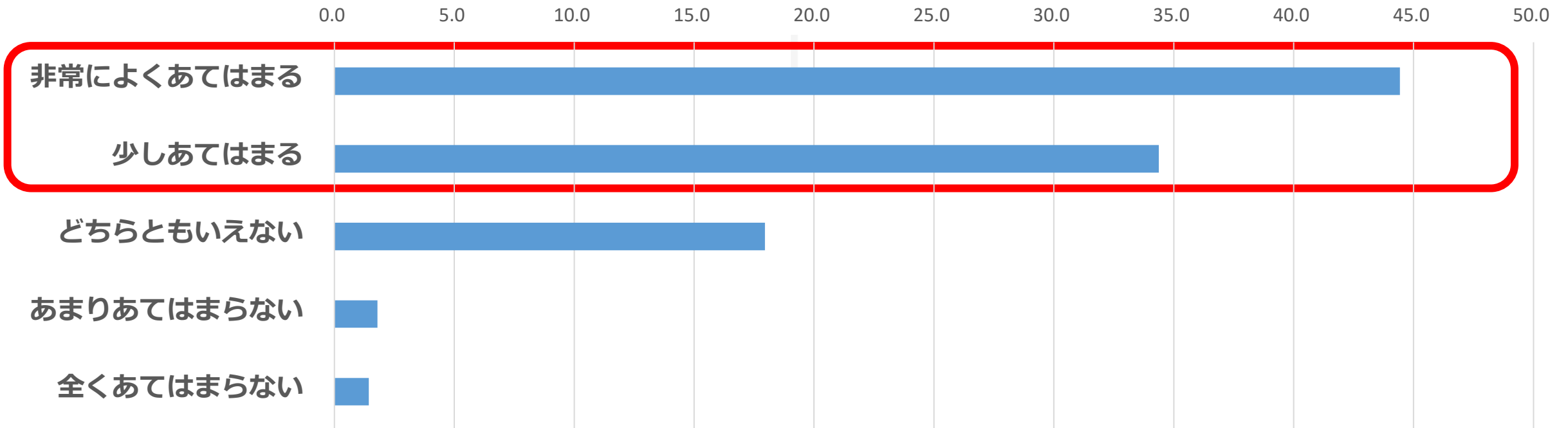
0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0



海への意識と行動

6割強（78.8%）が「海は日本人の教育にとって、大切な存在である」と回答。
 ※「非常に・少しあてはまる」2017年は42%、2019年は57%

Q.海は日本人の教育にとって、大切な存在だと思いますか？



海への意識と行動

コロナ禍で約5割（50.6%）が海に行く機会が減っている。

Q.コロナ禍により自粛生活が続く中で、海に行く回数に変化はありましたか？

